

# 第12回 KOSMOS フォーラム

## コーディネーター



池内 了 (いけうち さとる)

総合研究大学院大学教授  
専攻分野「天体物理学」

昭和19年生まれ  
昭和42年京都大学理学部物理学科卒  
昭和47年京都大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了  
昭和47年京都大学助手、52年北海道大学理学部助教授、59年東京大学東京天文台助教授、63年国立天文台教授を経て、平成5年大阪大学教授。9年名古屋大学大学院教授に就任。17年早稲田大学国際教養学部教授、18年総合研究大学院大学教授。この間プリンストン大学天文台、ジョンズ・ホプキンス大学スペース・テレスコープ科学研究所の客員研究員も務めた。銀河系を泡の集まりと見立てた“泡宇宙論”で知られる。宇宙の進化、銀河の形成と進化、星間物質の大局構造などの研究から、現在は、科学・技術・社会論に傾注し、新しい博物学を提唱している。  
著書『転回期の科学を読む辞典』『禁断の科学』『寺田寅彦と現代』『科学は今どうなっているの?』『ヤバな科学』『ソフトランディングの科学』など。

## パネリスト



内井 惣七 (うちい そうしち)

京都大学名誉教授  
専攻分野「論理学；科学の哲学；倫理学」

昭和18年生まれ  
昭和40年京都大学工学部卒 昭和41年京都大学文学部卒  
昭和46年ミシガン大学大学院哲学専攻博士課程修了  
京都大学人文科学研究所、大阪市立大学助教授を経て、平成2年京都大学教授。18年定年退職。わが国を代表する科学哲学者で、科学が生み出す倫理問題にも強い関心を持つ。確率の哲学、進化論をめぐる哲学的問題の追究、空間・時間論、合理主義の倫理学が研究の主な対象。  
著書に『論理学-モデル理論と歴史的背景』『自由の法則・利害の論理』『科学哲学入門』『科学の倫理学』『空間の謎・時間の謎』など。

## パネリスト



海部 宣男 (かいふ のりお)

放送大学教授、国立天文台名誉教授・前国立天文台長  
専攻分野「電波天文学、赤外線天文学」

昭和18年生まれ  
昭和41年東京大学教養学部基礎科学科卒  
昭和43年東京大学大学院理学系研究科天文学専攻修士課程修了  
昭和44年東京大学理学部天文学教室助手、54年東京天文台助教授、63年国立天文台教授。この間、野辺山宇宙電波観測所の45m電波望遠鏡や音響光学型電波分光計等を開発し、おうし座暗黒星雲に直線炭素鎖分子など新しい星間物質を多数発見。SiOメーザの発見、原始星ガス円盤の発見などミリ波宇宙電波分光学を開拓し、日本の電波天文学を世界のトップクラスに押し上げる上で重要な役割を果たした。その後ハワイの大型光学赤外線望遠鏡すばるプロジェクトに移り、計画総括責任者・初代ハワイ観測所長として11年初観測を成功させた。12～18年国立天文台長。17年から日本学術会議会員、第三部長。  
著書に『宇宙から銀河へ』『宇宙マンガシリーズ』『宇宙のキーワード』『宇宙を詠う』『望遠鏡』『すばる望遠鏡の宇宙』など多数。



佐藤 勝彦 (さとう かつひこ)

東京大学大学院理学系研究科教授  
専攻分野「宇宙論；宇宙物理学」

昭和20年生まれ  
昭和43年京都大学理学部物理学科卒  
昭和48年京都大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了  
京都大学助手を経て、昭和57年東京大学助教授、平成2年教授。11年新設のビッグバン宇宙国際研究センター長に就任。13年大学院理学系研究科長。この間、昭和54～55年デンマーク、北欧理論物理学研究所客員教授。物質系としてもっともマイクロな宇宙の創生・進化を、もっともマイクロな存在である素粒子の世界の法則に基づいて進める素粒子的宇宙論の研究を先駆的に進め、この分野を開拓した。現在初期宇宙のパラダイムとなっている誕生まもない小宇宙が急激な膨張で一瞬に巨大な宇宙になるとする“インフレーション宇宙論”の提唱者の一人である。また母宇宙から子宇宙が、またそこから孫宇宙へと無限に宇宙が生まれる宇宙の多重発生理論も提唱。国際天文学連合宇宙論部会長、日本物理学会会長も務めた。第20期日本学術会議会員。  
著書に『宇宙はわれわれの宇宙だけではなかった』『相対性理論』『宇宙96%の謎』など。



竹宮 恵子 (たけみや けいこ)

漫画家、京都精華大学マンガ学部マンガ学科教授  
専攻分野「ストーリーマンガ」

昭和45年徳島大学教育学部美術科中退  
中学生時代に漫画を描き始め、昭和42年「COM」の月例新人賞に佳作入選。43年「週刊マーガレット」に投稿した『りんごの罪』でデビュー。徳島大在学中には「週刊少女コミック」に『森の子トール』が連載される。大学中退後、上京して本格的な漫画家生活に入る。少女誌にラブコメディ、ファンタジーものを連載し、51年「週刊少女コミック」の少年愛物『風と木の詩』がベストセラーとなる。52年「月刊マンガ少年」に未来SF『地球(テラ)へ...』を発表、少女マンガ界で不動の地位を築く。ほかの作品に『イズアローン伝説』『ファラオの墓』『変奏曲』『空がすき!』『私を月まで連れてって!』『僕だけが知っている』『天馬の血族』『平安情瑠璃物語』などがある。平成12年4月京都精華大学に開設したマンガ学科教授に就任。大学での研究として「原画」を発表。2003年より各作家さんに広く呼びかけ「原画展」を毎夏、企画開催。貴重な原画の保存・公開に務めている。